



# ぐんま“まちづくり”ビジョンシンポジウム モビリティ・マネジメント

群馬県県土整備部都市計画課まちづくり推進係



日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)  
HP (<http://www.jcomm.or.jp/>) から

群馬県都市計画協会と群馬県主催による「ぐんま“まちづくり”ビジョン シンポジウム」が平成27年2月9日(月)高崎シティギャラリー(1階)コアホールにて開催されました。

基調講演：

## 「モビリティ・マネジメント～公共交通を使うライフスタイルはカッコいい!～」

人口減少・超高齢社会が進展する中、中心市街地は衰退しまちの郊外化が進み、どこへ出掛けるにも自動車に依存するライフスタイルとなっておりますが、ここでもう一度ライフスタイルを振り返り、過度な自動車依存から脱却し、公共交通や自転車利用などへ転換するための動機付けやイメージ戦略など『モビリティ・マネジメント』について、筑波大学大学院 システム情報工学研究科 公共心理研究室の谷口綾子准教授にご講演いただきました。講演では、自動車利用を様々な観点から事故のリスクや健康への影響などを再確認し、公共交通を利用したくなる動機付けやイメージ戦略など、一般の方でもたいへん分かりやすい説明をしていただきました。



### ??? 「モビリティ・マネジメント」とは???

渋滞や環境、あるいは個人の健康等の問題に配慮して、過度に自動車に頼る状態から公共交通や自転車などを『かしくく』使う方向へと自発的に転換することを促す、一般の人々や様々な組織・地域を対象としたコミュニケーションを中心とした持続的な一連の取り組みのことを意味します。具体的には、コミュニケーション施策を中心として、様々な運用施策、システムの導入や改善、それらの実施主体の組織の改変や新たな組織の創出などを実施しつつ、持続的に展開していく一連の取り組みを意味します。



事例紹介：

## ぐんま“まちづくり”ビジョン アクションプログラム

### ◆群馬県：「ぐんまビジョン」の概要

群馬県都市計画課の石田主幹が「ぐんま“まちづくり”ビジョン」の概要について説明しました。まず、群馬県の人口減少と高齢化の進行状況や将来の人口分布の予測を踏まえ、「ぐんまらしい持続可能なまち」を実現していくためのまちづくりの方向性や取組方針などを説明し、市町村の望ましい将来像を達成するための実行計画である『アクションプログラム』の策定方法や策定スケジュールについて説明しました。

### ◆桐生市：桐生市アクションプログラム

桐生市都市計画課の日浦主任により「桐生市アクションプログラム」の特徴について説明していただきました。桐生市では、①まちなかのにぎわいと活力の創出、②交流人口の拡大による地域活性化の2つを重点プロジェクトとして定め、東武鉄道新桐生駅の再整備による交通結節点の強化や、低速電動コミュニティバス「MAYU(まゆ)」などによる多様な交通手段の確保などを実施していきます。

### ◆みどり市：みどり市アクションプログラム

みどり市都市計画課の<sup>おおまめうだ</sup>大豆生田主査により「みどり市アクションプログラム」の特徴について説明していただきました。みどり市では、①安全安心で快適に過ごせるまちづくり、②地域資源を活用した観光まちづくりの2つを重点プロジェクトとして定め、JR岩宿駅と東武鉄道阿左美駅の駅前広場等整備による交通結節点の強化や、ながめの余興場や高津戸峡などの観光名所へ向かうための多様な交通手段の確保などを実施していきます。

